

ノジコ

Emberiza sulphurata Temminck & Schlegel

スズメ目ホオジロ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

繁殖分布は日本に限られ、国内でも分布は局地的で個体数が少ない。

形態

全長約14cm。全身黄色っぽい緑色。胸、腹など下面は淡い。雄の頭部は黒っぽく、目の回りに白い輪がある。

国内分布

夏鳥として渡来し、本州中部から青森県にかけて分布する。低山から山地の明るい広葉樹林や灌木のある草原に繁殖する。

県内分布

医王山、白山山系、大日山系の落葉広葉樹林や溪流沿いの疎林に見られるが、分布は局地的である。

生態

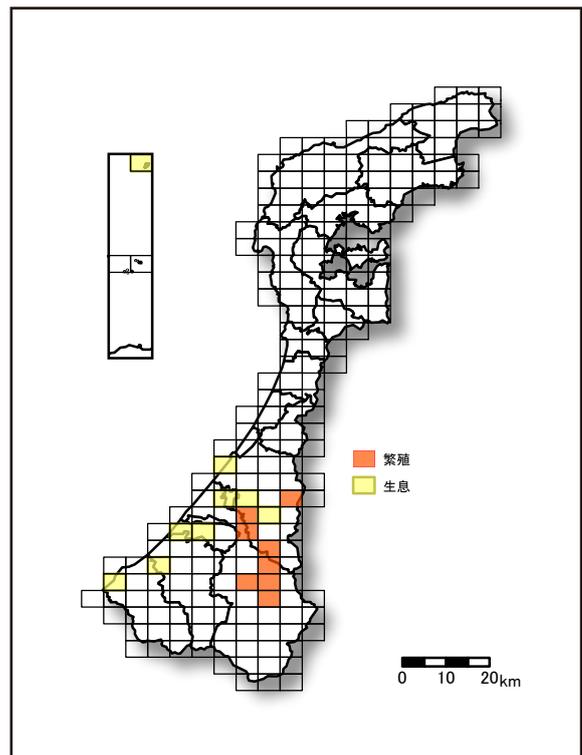
繁殖期は5～7月、低木の茂みや地上に営巣し3～5卵を産む。抱卵期間は約2週間、育雛期間は7、8日。主食は草の種子などだが、昆虫も捕る。

生息地の条件

湿地を含む落葉広葉樹や溪流沿いのハンノキ、クルミなどの疎林に生息するが、詳細はよくわかっていない。

生存の危機

森林の伐採、溪流の砂防工事。越冬地での密猟（飼育用、食用）など。（A）



県内の分布